

「かがやく交野」市議会ニュース

No.7

発行人：久保田哲 交野市星田1丁目23-9 電話：072-894-0789 発行日：平成28年春号

社会資本の再構築を目指します。

いつもありがとうございます。この度、再び議会にお送りいただき、その責務を果たすべく、持続可能な街づくり、社会資本の再構築を目指し取り組んでいます。

これからの時代は、「人口減少や少子高齢化」の社会情勢の変化を的確に捉え、限られた財源や資本を無駄なく、行政の効率的な運用を進めるよう取り組んで参ります。また、世代間の公平性と平等の観点で行政を進めるように頑張って参ります。

交野市議会議員

さとし

くばた 哲

プロフィール

昭和50年1月：西宮市生まれ

平成10年3月：近畿大学法学部 卒業

平成12年8月：平野博文 衆議院議員 秘書(10年6ヵ月)

平成23年9月：交野市議会議員に初当選

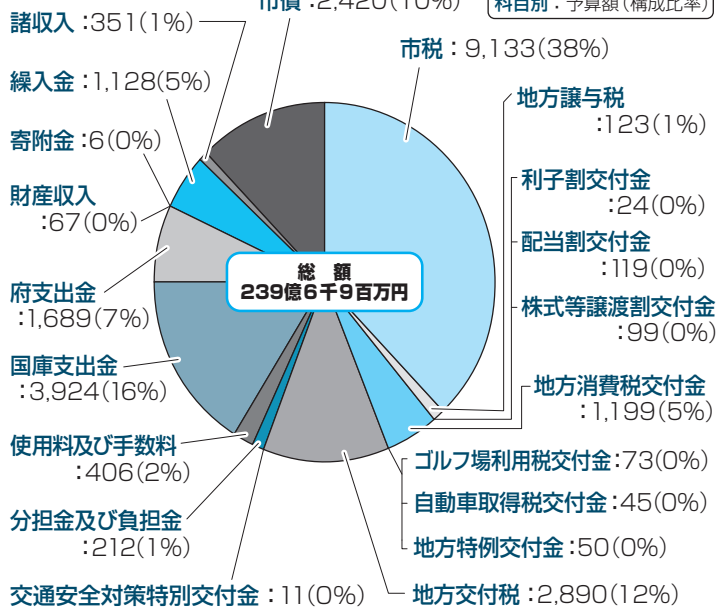
平成26年9月：議会選出 監査 就任

平成27年9月：交野市議会議員2期目当選

平成28年度一般会計予算

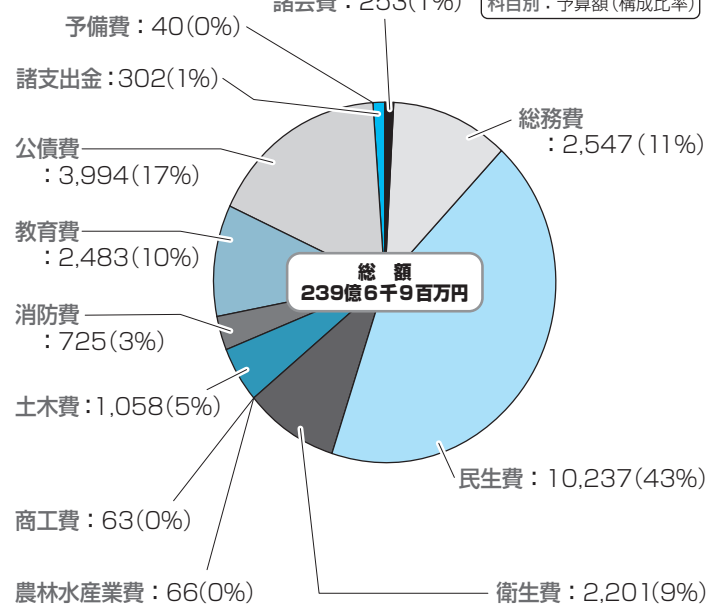
歳入の構成

単位：百万円



歳出の構成

単位：百万円



平成28年度の主な事業

事業	金額(概算)	参考
太陽光パネル	1,000万	旭児童会での設置
所有者不明猫への対応	56万	所有者不明猫への避妊・去勢の補助
通学路の防犯カメラ	230万	昨年は小学校枠で実施済
コンビニ等へのAEDリース	105万	命を守るAEDのリース
小中学校トイレの洋式化	5,400万	念願の設置にむけての設計
小中学校の老朽化対策	2億1,800万	校舎の屋上工事
星田北エリア	2,500万	区画整理事業への測量支援
健康ポイント	300万	元気づくりのための健診・講座
防犯灯LED	3,000万	最終年度の取り組みで28年度完了

くぼた議員が一般質問

2015年12月・2016年3月議会
ダイジェスト



公立幼稚園の運営について

質問

先の施政方針において、平成31年度以降に実施予定の公立幼稚園の1園民営化に向けて、検討委員会を設置して、具体的方針を定めるとのこと。

はじめに、このような大切な施策を実施するに当たり、教育・保育行政を預かる「基礎自治体」としての立場を明確にしていくことは、これからの民営化の議論を行う上で、大変重要である。本市の教育・保育行政について、また、そのあり方について、考えを聞く。



答弁

幼児期における教育・保育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであります。本市の公立幼稚園は、子どもの利益を考慮すると幼稚園・保育所は不離一体でなければならないとの基本理念の下、保育所と幼稚園を併設した一体運営により、多様な教育・保育ニーズに対応してきました。

昨年4月には、子ども・子育て新制度が始まりました。

質問

保育の特殊性を鑑み、生産性、効率性をもって、保育行政に取り組むことは、保育行政全体を網羅できているとは考えにくい。政策的に、その特殊性をどのように今後、位置づけていくのかお聞かせください。

答弁

児童に提供される教育・保育については、国が定める保育所保育指針等に沿って行っているため、民間と公立で基本的な差はございません。

一方、設備・運営の基準については、国の最低基準等があるものの、民間と公立では、人員配置等に差があるのが現状。民営化に当たっては、民間に一定の支援を行うことにより、交野市における教育・保育水準の維持・向上を図ってまいりたいと考えております。

くぼたの考え



交野市の公立において、保育・幼稚の一元化は、その歴史は古く、市民の皆さんへの理解も深いところです。財政的な考えだけでは、民営化への取り組みは反対です。障がいをもっているお子さんへの教育、福

祉の連携の配慮は、「公」ならではの配慮です。仮に、民営化された場合、新たな民間事業者でも、公に勝る体制をしっかりと担保を取らなければ、いけないと考えます。

障害者差別解消法のとりくみについて

質問

平成28年4月に障がい者への不当な差別的取扱いの禁止や合理的配慮を求める障害者差別解消法が施行されますが、依然として、障がい者が日常生活において不当な差別を受けたと、また感じた、とした現状をお聞きしている。

今後、市として、障がいを理由とする不当な差別



ゆうゆうセンター
(保健福祉総合センター)



を解消し、共生社会の実現をめざすための取り組みを聞く。

答弁

障害者差別解消法は、相互に人格と個性を尊重し合い、共生する社会の実現につなげることを目的とし、平成28年4月から施行されます。

本市では、昨年度策定いたしております「交野市第3次障がい者（児）福祉長期計画」により、障がいのある方の地域における自立した生活の実現に向け、その支援の充実に努めています。

今後、行政組織が一体となり、相談体制の確保や差別解消に向けた普及啓発活動を実施し、また「不当な差別的取扱いの禁止」や「合理的配慮の提供」について適切な対応、職員対応要領を作成し、障害を理由に分け隔てられることなく、共に生きる社会の実現に向け、取り組みます。

くぼたの考え



障がいをもっている方と共に安心して暮らせる街を作っていくためには、社会として、ある程度の費用が係ることを承知しなければ、始まりません。

「公」の役割が、非常に大きなウエイト

を占める分野です。「行政」が率先して取り組むことは、優しい社会の実現にむけて、誰もが助け合う心を養うことに繋がると考えます。

星田北まちづくりについて

質問

星田駅北エリアのまちづくりには、周辺地域の方々への賑わい（雇用・経済・産業）など強いメッセージを示していくことは大切である。

については、更に星田駅北エリ



星田北地区の開発地区

アのまちづくりの価値を高めていくことは、近隣地域（とりわけ寝屋川、寝屋地域）との鉄道駅を軸としたまちづくりの観点を持つことが、一つの手法としてありえるのではないかと。

答弁

都市再生特別措置法等の一部が改正され、コンパクトプラスネットワークの実現を目指し、国において鉄道沿線まちづくりガイドラインが示されています。

隣接する地域で検討されているまちづくりとの情報連携を図りながら、星田駅北エリアにおいて、

都市機能や生活利便の向上が図れるコンパクトシティを目指します。

くぼたの考え



星田駅北エリアの区画整備事業は、今後の交野市の将来を左右する大きな計画です。

大規模商業施設の誘致や、企業の物流拠点としての誘致は、交野市の財政健全化・人口減少社会・社会保障の増大に対応できる大きなチャンスと考えています。

全国の市町村が、苦勞している「新たな財源の確保」が、本市も明確に打ち出していない中、土地の面としての固定資産税収入だけではなく、街全体の雇用・産業・経済の膨らみにより、より確かな財源を見出す施策であると考えます。

星田北まちづくりについて

質問

新たなまちの活力の創造や、星田地域の利便性の向上が実施目標とされており、新たな魅力あるまちを創出するなかで、広い視点から公共施設の見直しにも繋がるものであると賛同できる。この中での公共施設のあり方についてお聞きする。

答弁

このまちづくりに伴う公共施設の見直しにつきましては、検討組織としても検討されております。市としても、このエリアにおけるまちづくりと連携できるのであればメリットがあるものと考えます。公共施設の老朽化対策を検討する中で、方向性を見出していきたいと考えております。

このエリアが、子育て世代が住みたい、子どもがいきいきと育つ、子どもから祖父母までが同居や近居で家族の絆が築かれる、などが実現できる新たなまちを創出できるよう、財政運営も含めて事業が実現に向け

て行政としてできることを着実に取り組みます。

質問

国の支援を受けやすい「立地適正化計画の策定」は、本市の場合、市民への影響などを考えると、難しい内容である。現在、広大な星田駅北エリアでのまちづくりに向けての取り組みも、市にとっては非常にハードなものであると認識しており、その課題をクリアするためには、国や府、また関係機関等への技術的、また人的な支援が必要と考えるが。

答弁

コンパクトシティのまちづくりにつきましても、立地適正化計画の策定の必要性は十分議論する必要があると考えております。これらの実施体制につきましては、大阪府や関係機関に対して人材支援やノウハウの提供など、可能な支援協力を行います。

ご意見・ご要望や市政相談は
お気軽に くぼた 哲 までお寄せください。

自宅

〒576-0016 交野市星田1丁目23-9

電話&FAX

(072)894-0789

ホームページ

くぼた 哲

検索

メールアドレス

s-kubota@s-kubota.jp

